

実験研究棟 A 区域（事務室研究室等）の LED 照明化工事に関する仕様書

1. 概要

環境省より、令和 9 年度中に一般照明用蛍光灯が LED 化される通達があった。通路灯や外灯の一部は LED 化を終了しているが、居室は更新が進んでいない状況のため、令和 7 年度中に実験研究棟の事務室及び研究室、セミナー室・階段灯等の電灯を LED 照明に更新する。

2. 構成

工事名称

実験研究棟 A 区域（事務室研究室等）の LED 照明化工事

3. 一般事項

3.1 場所

佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目 7 番地

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター

3.2 工期

令和 7 年 12 月 15 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

3.3 提出書類

以下に掲げる書類を各 3 部提出すること。なお各書類はそれぞれに指定の日までに提出し、担当者の承諾を受けること。

- ・ 工程表（要承諾）

受注後速やかに提出すること。工程に変更があった場合には、工事完了報告書に添付すること。

- ・ 施工計画書

作業人数、作業時間、作業内容（作業手順を含む）、仮設計画、体制表、緊急連絡先、交換部品リストなど作業の詳細について、修復工事前に承認を得ること。

- ・ 打合せ議事録（要承諾）

本件についてのセンター担当者との打合せ等の結果を提出すること。

- ・ 工事完了報告書

施工前の社内検査方法（検査日時、検査内容、検査方法、判定基準等）や、作業終了後の設置確認報告書を作成し、提出書類をまとめ、工事完了報告書として提出する。

- ・ 添付資料等について

作業に使用した材料や作業内容が分かる機器等の展開図やフロー図・完成図、作業前後の写真、納入機器・材料等の仕様書や取扱説明書等を添付すること。

3.4 検収条件

センター担当者の立ち会いのもとで、作業内容の確認と終了時検査を行い、

装置全体が正常に動作することを確認すること。その後、上記書類の提出をもって検収とする。

3.5 保証期間

保証期間は検収日より 1 年間とする

3.6 その他

- ・本件に対して疑義が生じた場合、あるいは代替案がある場合は、その都度研究センター担当者と協議し承諾を受けた後に実施すること。
- ・本仕様書に記載されていない事項については、研究センター担当者と両者誠意をもって協議し、対処すること。
- ・規定した特定社の製品と同等以上の製品を提案する場合は、当該製品が同等品以上であることを証明するデータ等を提出すること。

4. 仕様について

本件は、実験研究棟 A 区域（事務室及び研究室、セミナー室・階段灯等）の更新工事を進めるにあたり、工事区域毎の工事期間、更新する機器リスト等を記載し、円滑な工事方法を提案するものである。

4.1 LED 化更新工事区域について

※添付資料 1 A 区域：LED 照明工事の区分け参照

4.1-1 実験棟 1 F の事務室・保管室系統の居室区域

4.1-2 実験棟 2 F 研究室・事務室・会議室 1 の居室区域

- ・階段照明含む

4.1-3 玄関高天井照明区域

- ・高所作業用に足場等の設置が必要。

4.1-4 セミナー室

- ・天井照明及びダウンライト更新、ライトマネージャ配線変更。

但し、ライトマネージャの条件設定や照度調整は、別途業者が行います。

4.1-5 湯沸し室・資料室・会議室等 2 F 東側区域

4.1-6 屋外倉庫

4.2 照明機器の仕様について ※添付資料 2 参照

4.2-1 照明機器の仕様については、添付資料 2 の照明機器リストを参照する。

4.2-2 照明機器に付属している鏡面ルーパや乳白パネルは、LED 化照明機器に転用する予定です。

4-3 更新工事の日程について

4.3-1 居室の更新作業は、土日・祝日のみの工事になります。

但し屋外倉庫・セミナー室は、未使用日に作業の調整が可能。

4.4 安全作業の遵守

- ・照明機器取替作業時には、必ず電源を落として作業に入る。
- ・脚立や足場の上で作業する場合、転倒防止策を図ること。
特に高所作業の場合、必ず安全帯を装着すること。

4.5 その他

- ・居室内の更新工事前に、必ずポリエチレンシート等で養生作業を行い、机や棚等の移動が必要な場合、必ずセンター担当者了解後作業に入る。

5. 検査

作業完了後、研究センター担当者立ち会いのもと、取付け状況の目視確認と点灯確認試験・照度測定等を行う。

6. 作業について

- ・作業の日程については、研究センターの運営状況を踏まえた上で、センター担当者と協議の上決定する。
- ・作業においては、必要に応じて養生などの対策を行い、周辺の機器等に危害を与えないように措置を施すこと。
- ・万一、作業中に破損等が生じた場合はすぐにセンター担当職員に報告し、復旧の措置を講ずること。
- ・作業に際しては、センターの規則を遵守し、研究センター担当者の指示に従うこと。
- ・本件に関わる物品以外のセンター機器等には許可なく触れないこと。
- ・内容を十分把握した作業監督者を1名以上置くこと。

以上